

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市金剛沢児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》21,694人（前年度比 111.5%） 平成30年度 19,461人 平成29年度 19,455人 平成28年度 19,488人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 40,852千円（ 34,594千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（ 0千円） 《収入》 ・ 使用料収入 0千円（ 0千円） ・ その他収入 0千円（ 0千円）
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、高学年が中心となり遊びのルールや遊具の使い方等について話し合ったり、新1年生を迎える会の企画運営をしたりするなど、子ども達の自主性や社会性を育みながら、集団生活を円滑に進めるための取り組みが行われている。PTAによるボランティア団体「親児の会」と連携した「しめ縄作り」や「はっと汁作り」は、子ども達が新しい経験を積み、伝承文化に触れる貴重な機会となっている。	18/18

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズユープ）による自己評価》

開館8年目を迎え更なる地域力を感じ、利用者の皆さんが主体的に活動する姿が印象的でした。

○児童健全育成事業  
この地域だから出来る事に向き合い、三神峯公園でのお花見、地域先生によるゲートボール体験、地域のお宅からお花をいただき地域の方の手ほどきでフラワーアレンジメントを作る『幸っちゃんの金剛沢花遊び』、天沼公園での『ザリガニ釣り』等、身近な自然を感じ、地域の方と共に子ども達の引出しを増やすことができました。また、子ども達の「やりたい！」が実現した『ハロウィンごっこ』には保育所の皆さんを招待。お店屋さんごっことお化け屋敷を合わせた内容で小さい子への思いやりが詰まっており、感謝される体験へと繋がりました。『みんなわいわい無限大』と題した館まつりは、ジュニアリーダーや中学生の力を借り、338名の参加者で賑やかな1日でした。

○子育て家庭支援事業  
子育て支援クラブ“きりりっこ”は、流しそうめんや餅つき等の季節行事や、音楽療法にヨガと乳幼児親子の笑顔が溢れる場となりました。また、発達に不安を抱えるお子さんの親の会“つぼみ会”は定例会の他、館まつりにも参加し、普段の活動に参加できない方も繋がりました。

○地域交流推進事業  
ホテルを呼び戻す活動の天沼公園環境浄化活動や小さな芸術祭も継続開催。新たな地域懇談会の形式で開催した『よってっ亭DEしゃべっ亭』は、和やかな中、仙台西高校の皆さんが参加者の貴重な意見を引き出してくれました。また、親児の会とは登米でしめ縄作りとはっと汁作りを体験。今後に繋がるものでした。

○放課後児童健全育成事業  
館まつりで児童クラブの2年生男子が日常の遊びから割りばし鉄砲でひとつのブースを担当。保護者の皆さんは手作り子ども神輿を製作し、地域を練り歩く等、主体的に参加。大いにお祭りが盛り上がりました。地域の笑顔が繋がる場となるよう努めていきたいです。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

#### 総合評価

地域交流推進事業では、地域懇談会のあり方を職員が話し合い、「よってっ亭DEしゃべっ亭」と称して食事をしながら開催する形式に改めた。料理作りと司会進行を仙台西高校生徒会の学生にお願いすることで、高校生が児童館運営に参画する機会を設けるとともに、参加者もリラックスして児童館について話せる場となり、今後の懇談会の在り方の1つとして意義のあるものになった。

毎年秋に地域の方々の文化的な発表の場として提供している「小さな芸術祭」には40人以上の参加があり、子ども達が作品へのメッセージを送るなど、参加者一人ひとりと児童が丁寧につながる世代間交流の取り組みになっている。芸術祭への参加から新たな地域先生が発掘され、児童館事業の充実に繋がるなど、好循環が生まれている点が評価できる。

地域への支援や感謝の気持ちを持ちながら「天沼公園環境浄化活動」に取り組むほか、年間を通じて「清掃」や「ざりがにつり」、「蛍の幼虫放流」などに取り組み、子ども達が地域の重要な構成員の一人であることの自覚を育んでいる。また、保育園の子ども達を招いての「ハロウィンごっこ」では、未就学児向けの遊びを児童が企画をするなど、子どもの「生きる力」を育む取り組みになっている。

子育て家庭支援事業では、子育て支援クラブによる季節行事等を通して、乳幼児を抱える保護者のリフレッシュの機会を提供するとともに、地域の乳幼児親子の交流拠点としての役割を果たしている。また、子どもの発達を考える親の会「つぼみ会」では、児童館を拠点に情報交換や学習の場を定例で開催しており、地域の中で子育てに不安を抱えている保護者にとっても、身近な相談場所として児童館が意識づけられている。

S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課